

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年10月15日

【四半期会計期間】 第27期第2四半期(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

【会社名】 株式会社ライフフーズ

【英訳名】 Life Foods Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 清水 三夫

【本店の所在の場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役  
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行  
兼財務部長

【最寄りの連絡場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役  
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行  
兼財務部長

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第26期 第2四半期累計期間	第27期 第2四半期累計期間	第26期
会計期間		自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高	(千円)	6,084,946	6,186,647	11,854,175
経常利益	(千円)	236,294	284,264	357,145
四半期(当期)純利益	(千円)	180,226	100,053	196,236
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,838,526	1,838,526	1,838,526
発行済株式総数	(株)	18,302,000	18,302,000	18,302,000
純資産額	(千円)	3,380,567	3,496,631	3,396,577
総資産額	(千円)	8,153,960	7,540,213	7,657,804
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	9.85	5.47	10.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			
自己資本比率	(%)	41.5	46.4	44.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	497,489	404,148	705,078
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	402,435	616,496	991,260
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	30,184	392,426	467,169
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,130,678	2,940,674	2,312,456

回次		第26期 第2四半期会計期間	第27期 第2四半期会計期間
会計期間		自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.91	1.63

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、四半期連結累計期間等に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。また、持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要に伴い改善しているものの、深刻化している欧州債務危機問題による不安定な為替相場や株式市場の低迷等、継続的な景気の先行き不透明感の中で推移しました。

外食産業におきましても、世帯1人あたりの外食支出額や企業の交際費等の減少傾向により、市場規模が縮小し厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態ごとに期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のあるうなぎまぶし御飯やまぐろ漬御飯等の季節御飯や牛バラ焼等の鉄板焼きの販売、「街かど屋」ではカレーかつ定食やデミかつ定食等の鉄皿での各種とんかつ定食の販売に続き、肩ロースステーキ定食やひとくち豚テキ定食等の各種定食を鉄皿で販売しました。「めしや食堂」ではめんたいこ御飯や手延素麺『揖保乃糸』の販売、「讃岐製麺」では、蒸し鶏のすだちおろしぶっかけうどん等を販売し夏の涼麺ぶっかけフェアを実施しました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が1店舗、閉店が1店舗となった結果、店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は6,186,647千円（前年同四半期比 1.7%増）、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で264,040千円（前年同四半期比 18.2%増）、経常利益は284,264千円（前年同四半期比 20.3%増）、四半期純利益は法人税等の増加による影響で100,053千円（前年同四半期比 44.5%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,113,969千円（前事業年度末は4,022,674千円）となりました。新規出店数が予定を下回りましたが、既存店売上高の増加によるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減損損失による特別損失の計上や減価償却が進んだことで1,869,114千円（前事業年度末は2,016,670千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,512,483千円（前事業年度末は1,570,830千円）となり、資産の部合計は、7,540,213千円（前事業年度末は7,657,804千円）となりました。

### (負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等により、2,175,682千円（前事業年度末は1,984,523千円）となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の減少等により1,867,900千円（前事業年度末は2,276,703千円）となり、負債の部合計は4,043,582千円（前事業年度末は4,261,227千円）となりました。

### (純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,496,631千円（前事業年度末は3,396,577千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は46.4%（前事業年度末は44.4%）となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は前事業年度末に比べ628,218千円増加し、2,940,674千円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を211,739千円計上したことや、非資金的費用として減価償却費110,286千円があったこと等により404,148千円の収入（前年同四半期は497,489千円の収入）となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、預入期間が3ヶ月を超える定期預金の預入による支出700,000千円及び払戻による収入1,300,000千円、閉店等による差入保証金の回収による収入58,432千円、新規出店及び店舗改装のための有形固定資産の取得による支出38,198千円があったこと等により、616,496千円の収入（前年同四半期は402,435千円の支出）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金340,631千円、割賦債務90,102千円の返済による支出等が進み、392,426千円の支出（前年同四半期は30,184千円の支出）となっております。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## (5) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第2四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,302,000	18,302,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	18,302,000	18,302,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日		18,302,000		1,838,526		1,537,526

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成24年8月31日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
清水 三夫	兵庫県西宮市	7,439	40.65
財団法人ライフスポーツ振興財団	兵庫県西宮市柏堂町3-7	3,000	16.39
清久商事株式会社	大阪市北区西天満1丁目11-20	2,964	16.19
株式会社ライフフーズ従業員持株会	大阪府吹田市江坂町1丁目13-41	1,398	7.64
清水 京子	東京都世田谷区	200	1.09
清水 周一	東京都世田谷区	200	1.09
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1丁目23-1	160	0.87
有限会社清水インベストメント	大阪市北区西天満1丁目11-20	150	0.82
ケイ低温フーズ株式会社	兵庫県伊丹市北伊丹5丁目43-1	110	0.60
国分株式会社	東京都中央区日本橋1丁目1-1	110	0.60
計		15,731	85.95

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり単元株式数は1,000株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,300,000	18,300	同上
単元未満株式	普通株式 1,000		(注)
発行済株式総数	普通株式 18,302,000		
総株主の議決権		18,300	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式667株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ライフフーズ	大阪府吹田市江坂町 1丁目13-41	1,000		1,000	0.0
計		1,000		1,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。



1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,612,456	3,640,674
売掛金	8,564	14,103
商品	3,972	1,167
原材料及び貯蔵品	51,946	55,335
繰延税金資産	92,285	114,067
その他	253,450	288,621
流動資産合計	4,022,674	4,113,969
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,754,590	1,653,313
その他	262,080	215,801
有形固定資産合計	2,016,670	1,869,114
無形固定資産		
投資その他の資産	47,628	44,645
差入保証金	1,236,665	1,178,166
繰延税金資産	193,978	197,114
その他	140,697	137,712
貸倒引当金	510	510
投資その他の資産合計	1,570,830	1,512,483
固定資産合計	3,635,130	3,426,243
資産合計	7,657,804	7,540,213
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303,299	371,665
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	681,267	681,273
未払法人税等	67,463	155,046
賞与引当金	107,151	123,012
その他	785,340	804,683
流動負債合計	1,984,523	2,175,682
固定負債		
社債	110,000	90,000
長期借入金	1,277,372	936,734
長期預り保証金	151,800	139,560
退職給付引当金	261,669	267,812
その他の引当金	69,402	71,712
その他	406,458	362,079
固定負債合計	2,276,703	1,867,900
負債合計	4,261,227	4,043,582

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	20,906	120,960
自己株式	382	382
株主資本合計	3,396,577	3,496,631
純資産合計	3,396,577	3,496,631
負債純資産合計	7,657,804	7,540,213

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	1 6,084,946	1 6,186,647
売上原価	1,815,440	1,870,983
売上総利益	4,269,506	4,315,663
販売費及び一般管理費	2 4,046,182	2 4,051,623
営業利益	223,323	264,040
営業外収益		
受取利息	3,883	3,841
受取家賃	129,493	115,298
その他	28,347	29,986
営業外収益合計	161,724	149,126
営業外費用		
支払利息	22,340	16,919
賃貸収入原価	122,872	110,476
その他	3,540	1,506
営業外費用合計	148,753	128,902
経常利益	236,294	284,264
特別利益		
過年度損益修正益	2,739	-
固定資産売却益	35,000	-
受取補償金	66,666	-
特別利益合計	104,405	-
特別損失		
有形固定資産除却損	29,297	3,689
減損損失	36,474	68,750
店舗閉鎖損失	8,813	86
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,724	-
その他	14,368	-
特別損失合計	147,678	72,525
税引前四半期純利益	193,021	211,739
法人税等	3 12,794	3 111,685
四半期純利益	180,226	100,053

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	193,021	211,739
減価償却費	118,713	110,286
減損損失	36,474	68,750
転貸損失引当金の増減額(は減少)	990	610
賞与引当金の増減額(は減少)	13,568	15,860
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,461	6,143
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,797	2,920
受取利息及び受取配当金	3,884	3,841
支払利息及び社債利息	22,340	16,919
有形固定資産売却損益(は益)	35,000	-
有形及び無形固定資産除却損	29,297	3,689
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,724	-
売上債権の増減額(は増加)	5,203	5,539
たな卸資産の増減額(は増加)	5,149	584
仕入債務の増減額(は減少)	77,248	68,366
未払消費税等の増減額(は減少)	12,951	3,930
その他の資産の増減額(は増加)	4,911	30,992
その他の負債の増減額(は減少)	38,112	5,243
その他	3,755	3,058
小計	563,153	467,479
利息及び配当金の受取額	2,800	2,903
利息の支払額	23,437	16,702
法人税等の支払額	45,026	49,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	497,489	404,148
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,600,000	700,000
定期預金の払戻による収入	1,220,000	1,300,000
有形固定資産の取得による支出	145,921	38,198
有形固定資産の売却による収入	38,000	-
差入保証金の差入による支出	20,137	856
差入保証金の回収による収入	85,033	58,432
貸付けによる支出	-	7,600
貸付金の回収による収入	22,790	7,102
その他	2,200	2,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	402,435	616,496

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	540,627	340,631
社債の発行による収入	98,490	-
社債の償還による支出	20,000	20,000
セール・アンド・割賦バック取引に基づく資産 売却代金の受入額	102,471	58,307
割賦債務の返済による支出	70,388	90,102
配当金の支払額	130	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>30,184</b>	<b>392,426</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	64,870	628,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,065,807	2,312,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,130,678	1 2,940,674

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円	1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)																								
1 当社の売上高は、連休や夏休みなど休日が第1及び第2四半期会計期間に多くなることにより、第3及び第4四半期会計期間に比べ高くなる季節的変動があり、営業利益以下においても第1及び第2四半期会計期間に偏る傾向があります。	1 同左																								
2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>給与手当</td><td style="text-align: right;">521,758千円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">1,245,255 "</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">123,499 "</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">42,433 "</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">2,797 "</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">803,622 "</td></tr> </table>	給与手当	521,758千円	賃金	1,245,255 "	賞与引当金繰入額	123,499 "	退職給付費用	42,433 "	役員退職慰労引当金繰入額	2,797 "	賃借料	803,622 "	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>給与手当</td><td style="text-align: right;">506,678千円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">1,298,701 "</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">122,250 "</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">44,648 "</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">2,920 "</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">793,518 "</td></tr> </table>	給与手当	506,678千円	賃金	1,298,701 "	賞与引当金繰入額	122,250 "	退職給付費用	44,648 "	役員退職慰労引当金繰入額	2,920 "	賃借料	793,518 "
給与手当	521,758千円																								
賃金	1,245,255 "																								
賞与引当金繰入額	123,499 "																								
退職給付費用	42,433 "																								
役員退職慰労引当金繰入額	2,797 "																								
賃借料	803,622 "																								
給与手当	506,678千円																								
賃金	1,298,701 "																								
賞与引当金繰入額	122,250 "																								
退職給付費用	44,648 "																								
役員退職慰労引当金繰入額	2,920 "																								
賃借料	793,518 "																								
3 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。	3 同左																								

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)
現金及び預金	3,930,678千円	3,640,674千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	800,000 "	700,000 "
現金及び現金同等物	3,130,678千円	2,940,674千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期累計期間(自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)

1 . 配当金支払額

該当事項はありません。

2 . 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 . 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第 2 四半期累計期間(自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)

1 . 配当金支払額

該当事項はありません。

2 . 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 . 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円85銭	5円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	180,226	100,053
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	180,226	100,053
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,300	18,300

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月9日

株式会社ライフフーズ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 松 田 茂 印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 井 上 嘉 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ライフフーズの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの第27期事業年度の第2四半期会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ライフフーズの平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。